

福祉



熊野市社協



くまの

特集

今年で70周年

赤い羽根共同募金

～紀和町丸山千枚田にて～

No. 66

平成28年9月5日発行

熊野市社会福祉協議会の事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。

赤い羽根共同募金のしくみ

赤い羽根共同募金はこのように集められております。



自治会等の協力による
戸別募金



駅やスーパー前での
街頭募金



小・中学校の協力による
学校募金



企業や商店の賛同による
法人募金



羽毛製品回収による
UMOU募金



地域のお祭りやイベントでの
イベント募金



自動販売機による
ハートフル福祉募金

共同募金は、地域ごとに使い道や目標額を事前に定めて募金を集める仕組みで、皆様のご協力により集められた募金は一度、三重県共同募金会で集められ、一部^(※)を除き熊野市にかえてくるシステムになっています。

現在、この募金は地域で行われているサロン活動の支援や福祉啓発イベント、ランドセル購入助成、NPO法人の事業に活用されています。

※災害が発生した時のための準備金や県内広域で活動する福祉団体への配分金

平成 28 年度は下記の事業に活用されています。



地域で行われているサロン



社協ふれあいフェスタ



ひとり親低所得者世帯への
ランドセル購入費助成



熊野市社協が行っている事業の他にも今年度は「NPO法人くまのっ子学童クラブ」がキャンプをするためのテントを購入されました。



平成28年度 赤い羽根共同募金運動 ～じぶんの町を良くするしくみ～

日本で赤い羽根共同募金が始まったのは、1947（昭和22）年のことです。その当時は、第2次世界大戦が終わったばかりで、家を焼かれたり、お父さんお母さんがけがをしたり亡くなったりした子どもたちがたくさんいました。そこで、困っている人たちのために、みんなで助け合っていこうと、赤い羽根共同募金が日本中でおこなわれました。共同募金が始まった当時からのすけあいの心は現在も続いています。

今年で、赤い羽根共同募金も70周年をむかえます。「じぶんの町を良くするしくみ」のために一人でも多くの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



おかげさまで70周年



熊野市の今年度の目標額は 2,550,900円となっています

今年度も熊野市内の各自治会、町内会、婦人会、地区社協そして地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

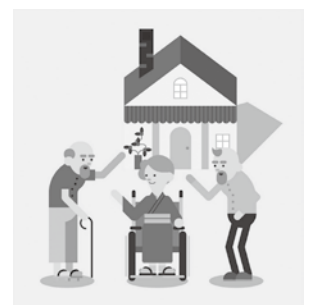
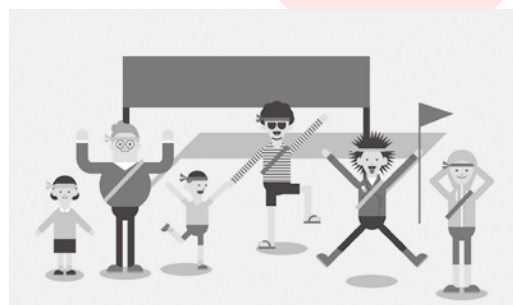
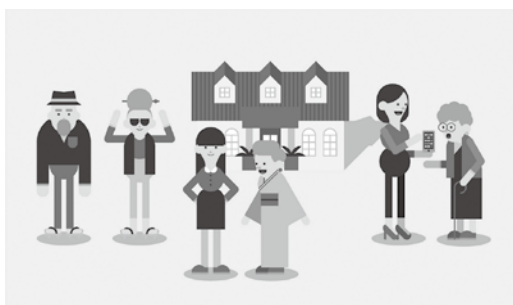
皆様によって寄せられた募金は来年度の熊野市の地域福祉事業に役立てられます。

- ・市内各地で行われているふれあいいきいきサロン
- ・地区社協による地域見守り活動
- ・毎年開催している社協ふれあいフェスタ
- ・ひとり親世帯（低所得者）へのランドセル購入費助成
- ・市内福祉団体への助成
- ・配分申請のあった市内福祉施設・福祉団体への助成

その他にも集められた募金の一部は三重県共同募金会において災害が発生した時のための準備金にもなっております。今年4月に発生した熊本地震では、三重県内で集められた災害準備金475万円が送金されました。



赤い羽根共同募金運動期間は 10月1日～翌年3月31日です。





開催



声の

平成28年度 ボランティア養成講座 ボランティア講座を開催します!

日程 内容

- ① 28年10月 1日(土) 10:00~12:00
【予定内容:視覚障がいの理解、朗読の基本】
- ② 28年10月15日(土) 10:00~12:00
【予定内容:朗読の基本、自然な読み方】
- ③ 28年10月29日(土) 10:00~12:00
【予定内容:朗読の基本、録音体験、まとめ】

会場

熊野市保健福祉センター(井戸町1150)

講師

伊勢市 ひばり朗読奉仕会 会長 志賀 智子さん

定員

10名(参加費無料)

対象

熊野市内に在住の方で、ボランティア活動(特に朗読や音訳)に興味のある方
※全ての回に参加できる方を優先します。

申込

平成28年9月26日(月)までに当センター(89-5000)までお申し込みください。

声は、コミュニケーション手段の中でも特に大きなウェイトを占めています。

声の出し方を少し変えるだけでも伝わり方がぐっと変わります。

今回の講座では、聞き取りやすい声の出し方や聞き手に伝わる読み方など基本的なことから学んでいきます。

皆さまの良い声とご参加をお待ちしています。

報告

くまのちびっ子ボランティアグループ
障がい者社会参加支援事業ふらった〜

合同企画

交流バーベキューを開催しました!



平成28年8月25日(木)、紀和雨天ゲートボール場にてくまのちびっ子ボランティアグループと「ふらった〜」参加者が集まり、交流バーベキューをおこないました。

最初は、ちびっ子ボランティアメンバー、ふらった〜メンバーお互いに緊張した様子でしたが、準備をしていくにつれ会話も増え、助け合う姿も見られ、最後には笑顔で「楽しかった!また来年もやりたい!」との声もあがり、交流を深めることができました。



『熊本地震のボランティア②(赤い羽根共同募金)』

今号の特集「赤い羽根」は災害ボラとも深い関わりが。都道府県共同募金会では、災害に備え募金の一部を積み立て災害ボラセン運営等に助成を行う「災害等準備金」制度があり、熊本地震では熊本県共同募金会に対し2億6千万円が拠出されています。



熊野市ボランティアセンター (熊野市社会福祉協議会内)

住所:熊野市井戸町1150番地

担当:桑原 涼

電話:0597-89-5000

FAX:0597-89-3068

メール:r.kuwabara@k-shakyo.com

ふれあいレクリエーション大会 in 育生

今回の舞台は…育生地区！

有木保（たもつ）地区社協会長をはじめ、地域の多くの方々のご協力をいただきながら、子供からお年寄りが集まり交流を深めました。三人一組のチーム対抗戦で賞品がかかることやる気倍増！終始、体育館に歓声と笑い声が響き渡っていました。46名の参加者の笑顔に社協職員も自然と笑顔に♪



みなさんの表情が柔らかくなった終了後に記念写真をパチリ

平成28年度 福祉委員研修会

7月30日（土）に熊野市保健福祉センターにおいて、「平成28年度福祉委員研修会」を開催しました。これは、地域でご活躍中の福祉委員の方々を対象に、地域福祉活動が一層円滑に進められることを目的として毎年開催しているものです。

過疎高齢化が進む我が市において、これからも安心した地域生活を送っていくには、地域内での互助が確実に必要となります。そのような中で今回の講師には、地域福祉に精通し様々な研究活動を行う、中部学院大学短期大学部社会福祉学科学科 教授・大井智香子氏をお招きしました。

今回は民生委員の方々等にも呼びかけ、総勢79

名の方が参加されました。

グループワーク形式で実施し、先生のユーモアのある進行や参加者の共同作業等により、賑やかな研修会となりました。

地域福祉を向上させることは簡単ではありませんが、まずは地域の実情を一人一人が理解し、できる事から少しずつ行動を起こすことが重要だと感じさせられるものでした。



第11回 社協ふれあいフェスタ

7月17日（日）に第11回社協ふれあいフェスタを開催しました。

昨今、TVゲームやスマートフォンが子ども遊びの主流になる中、「元気に遊ぶ親子でも楽しめる企画を考えよう！」と、例年6月に開催していたものを夏休み前の時期に開催することとなりました。



祝ご長寿！満百歳記念事業

8月19日に杉本章子さん（有馬町）を、8月24日には古川トミエさん（紀和町）をお尋ねし、満百歳のお祝いを行いました。お二人とも家事や育児、仕事等に精を出し、戦前戦後の激動の時期を乗り越えてこられました。また、人情味溢れる人柄は誰からも慕われていたようです。

当日は遠方からご家族も駆けつけられ、ご長寿祝いに花を添えました。今後の益々のご健康とご多幸をお祈りいたします。



屋外はプールやスイカ割り等で大賑わい！屋内も溢れんばかりの来場者が各ブースを埋めていました。他にも、井戸保育園児による手話披露や市内保育所・園児の絵画展も開催され、賑わいととも温かみのあるフェスタとなりました。
ご協力・ご来場いただきました皆様、本当にありがとうございました。

9・10月の 無料法律相談

★開 催 日 9月20日(火)・10月18日(火)
 ★相 談 員 片山 眞洋 弁護士
 ★会 場 熊野市保健福祉センター
 ★時 間 13時から
 ★相談内容 民事全般(相続、離婚、雇用 etc)

※相談は一人10分間程度で予約順です。
 ※開催日前日の15時までに予約が必要です。
 (月曜開催の場合、予約は前週の金曜日15時まで)

【担当：地域福祉係 田坂】

現在、リサイクル登録はありません。今回のリサイクル登録制度の掲載は紙面の都合により休載させていただきます。

『社協なんでも講座』

社協なんでも講座は、その名の通り「なんでも」講座にしてしまおうという事業です。

車いす体験などの福祉関係の講座から初心者パソコン教室などの実用系まで様々な講座をご用意しています。メニューにない講座でも、「相談に応じて」なんでも講座いたします。皆さまのお申込みをお待ちしています。

【担当：地域福祉係 桑原】

今年も開催します ひなた祭

飛鳥・五郷デイサービスセンターでは、平成28年10月29日(土)第3回ひなた祭の開催を予定しています。今年も飛鳥五郷地域の皆様やご利用者様に喜んでいただけるよう楽しい企画を考えておりますのでぜひご来場ください。



イメージキャラクター
『ひなた』

昨年のひなた祭の様子

数字の謎を解け！ ナンバープレイス

みんな応募ありがとう。簡単だったかな？難しかったかな？まだまだ出題するから僕が出す数字の問題に挑戦してね！右の空白に数字を埋めてA~Eのアルファベットが付いているマスの合計を答えるんだ。見事正解すれば景品を抽選で3名の方にプレゼント！たくさんのお応募を待ってるよー！！

※ナンバーのルール

- 1 タテヨコ一列に1~6の数字が入る。
- 2 タテヨコ一列に同じ数字は入らない。
- 3 区切られた2×3のブロックにも同じ数字は入らない。

9月30日までに、はがきにA~Eのマスの合計となる答え

住所、氏名、年齢、感想を書き

〒519-4324 熊野市井戸町1150

熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」までお送りください。

6	2	A	3
	B		2
		C	D
2		5	6
5	E		1
4			2



熊野市の人口と高齢化率

世帯数 9,161世帯

人口 17,779人
(男8,170人/女9,609人)

65歳以上 7,318人
(男2,996人/女4,322人)

熊野市の高齢化率41.16%
(平成28年8月1日現在)

余談ですが表紙に「ミニオンがいます。見つけられたでしょうか？手前のじゃないよ。手前のは「くましゃん」(おか)

リオオリンピックが終わりました。今回はメダルラッシュでしたね！メダルを取った瞬間を見たいと何度も思いましたがほとんど夜中だったため歓喜の瞬間は夢の中……。4年後は東京で行われます。せっかく日本ですのならば直接見たいものです。

あ と が き

前回のナンバープレイスの答えと当選者

◆答え 赤い数字の合計

18

当選者は次の方々です。

森 さだ さま
 田上 和子 さま
 尾白 美代子さま

2	4	3	1	6	5
5	6	1	2	4	3
4	1	6	3	5	2
3	5	2	4	1	6
1	3	5	6	2	4
6	2	4	5	3	1

※図書カードを贈呈させていただきます。